

(別紙様式例3)

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2021年 3月 1日

事業所名: 宗友福祉会 天使園

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保		0	0		47	0	0	0	・クラスや園庭など十分に広く安全も確保されており、のびのびと遊んでいる。 ・人数が増えているが、何とか大丈夫そう。	
	2 職員の適切な配置	15	6	0	・早出、宿直、バス送迎、他部署のヘルプなどで抜ける人員が多く、センターの準備等は時間外を使うことが多い。 ・昨年度より職員数が増えたが、子どもも増えており、長期休み時期は職員が不足した。	37	4	1	5	・職員がとても親切。 ・新しい職員でも適切な専門性を持って接してくれている。 ・たくさん職員に関わってもらい満足。 ・今年度子どもが増えたが、職員は増えてないのではないかと不安。 ・今年度子どもが増えたが、職員は増えてないのではないかと不安。 ・個別などでクラスから職員が抜けると入園前に話していた「職員1人に対して子ども2〜3人」にならないのではないかと不安。 ・配置数は満たしているが、バス運転や、他事業の泊り業務など兼任者ばかりでフォローが手薄。 ・一週間代替休みをされると誰に連絡をとれば良いかわからない。担任は専従がいい。 ・多すぎると少なすぎるとも思わない。	・人員体制におきましては、バス運転、宿直等も兼任していますので、ご理解ご協力の程よろしく願いをいたします。 ・連絡体制におきましては、各クラス支援者にお伝えして頂いたら、伝わる体制を強化しますのでよろしく願いいたします。 ・今後におきましても、子どもさんと保護者様の支援に不利益が生じないように努めてまいります。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	19	2	0	・玄関にスロープの設置、部屋の仕切りで段差を無くした構造になっている。 ・視覚的に分かりやすく配慮をしている。	46	0	0	1	・覚えるまで丁寧に説明してくれている。 ・視覚支援(マーク・写真・絵カードなど)をしてきて、子ども自行動や片付けをしている。 ・どの部屋で何をやるか、本人が理解して生活できている。 ・おもちゃを選ぶ部屋が、分かりやすく配置されている。 ・正門から出る際に子どもの目線では見通しが悪く、急に走り出すなど危ない場面を見かけた。	・正門から道路に出る際には、事故等に十分気をつけていきますので、ご協力の程、お願いいたします。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	21	0	0	・常時換気を行いながら、室内の温度を調整するために空調を常時起動している。 ・感染症予防に気を付け、毎日清掃消毒(次亜塩素酸での床ふき、水ふき取り・アルコールでの手指、手すり等)をしている。	47	0	0	0	・明るく清潔にしている。 ・気持ちの良い空間づくりに感謝している。 ・園庭の芝生はいつ見ても裸足で駆け回れるよう手入れされていて気持ち良いと思う。 ・ハンズやおむつを履くマットが共用なのが衛生的によくない。	・共用マットにおきましては、毎日の消毒とマットの交換に努め、衛生管理に努めてまいります。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
業務改善	1	19	2	0	・支援や業務内容の課題について、職員会や終礼等で全体に共有し、改善に努めている。	/	/	/	/		
	2	14	2	5	・実施できていない。	/	/	/	/		・今後は実施の検討を要する。
	3	21	0	0	・今年度は外部研修がほとんど無かったが、研修会に参加をして資質向上に努めている。	/	/	/	/		
適切な支援の提供	1	21	0	0	・事前に保護者に意見を聞く(アセスメント・モニタリング)を行いながら個々の特性や成長に合わせて、児童発達支援計画を作成している。	43	3	0	1	・何を課題にすればいいか相談に応じてもらいながら作成してもらっている。 ・子どもに合った課題を用意してくれている。 ・困り感や就学に向けての要望もしっかり聞いてもらっている。 ・子どもにとって最適な計画を立ててもらっている。 ・マメに情報交換をしてもらい、課題や進歩がわかりやすい。	
	2	21	0	0	・児童発達支援ガイドライン、保育所保育指針、ポータープログラム、乳幼児発達経過表、新版K式発達検査等、児童発達支援計画へ項目として設定している。	46	1	0	0	・出来るようになると新しい課題を用意してくれて、子どものことを良く見てくれていると思う。 ・苦手であることが楽しく習得できるような支援を考えてもらっている。 ・親にも分かりやすく具体的な内容を設定している。 ・ポーターカードを使用して目標に対して家庭で子どもにどう関わればいいのか分かりやすい。	
	3	21	0	0		/	/	/	/		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な支援の提供 (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	21	0	0	・支援計画に基づいたクラス活動や個別支援の実施。支援記録への記載をしている。	44	1	0	2	・子どもの様子を色々と教えてくれる。 ・個別の時間などで課題に取り組んでもらっている。家庭だと嫌がる事もあるため有難く思っている。 ・個別やSTでは計画に沿った課題を子どもが興味を持って取り組めるよう促している。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	21	0	0	・毎月、毎週、クラス活動とグループ活動等、各部署支援者がそれぞれの意見で立案、実施。	/	/	/	/		
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	21	0	0	・季節に合った活動を取り入れている。 ・新しい取り組みを月に1回以上取り入れている。	42	2	0	3	・保護者と話をしながら考えてくれている。 ・園外活動も頻繁にあり、室内での活動も様々な工夫がされた楽しい内容になっている。 ・製作や外出、運動面や季節遊びなどバラエティに富んだ内容で子どもたちも楽しく活動できていると思う。 ・毎日違うプログラムが設定されており、職員の発想はすごいと思う。 ・個別でも前回の活動内容や様子を考慮し本人に合った活動を毎回考えてくれている。 ・ST職員にも日ごろの園生活を見て欲しい。	・STと支援者との連携におきましては、クラス、グループ活動、ケース会議等の中で、今以上、連携強化を図ってまいります。
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	18	3	0	・平日、休日問わず、保護者からの相談に応じられる体制を整えている。 ・長期休暇では、必ず家庭へ連絡をして子どもの様子や家庭状況の聞き取りを行う。	/	/	/	/		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	18	2	1	・必ずとは言えないが、直前で確認していることが多い。 ・支援開始前に、クラス職員が揃う時間帯が無い。	/	/	/	/		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	13	6	2	・全員ではないが、降園後に職員間で振り返りを実施している。	/	/	/	/		
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	21	0	0	支援計画に基づいて記録を記入している。家庭とのやりとりや子どもの体調面についても細かく記録している。	/	/	/	/		

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	21	0	0						
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	19	2	0						
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	20	1	0						
関係機関との連携	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	20	1	0						
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	20	1	0						
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	20	1	0						
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	20	1	0						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
(続き)	7	14	3	4	・今年度はコロナの関係で、交流活動が難しい状況であった。関係機関との調整により実施することができる場所もあった。	26	11	3	7	・受け入れをしてくれた交流先もあり、実施ができてよかった。 ・他事業所の大人の方や近所の農家の人との関わりはある。 ・後期から交流を希望したが、与えられた情報が少なく、地域の園との交渉や内容確認が不十分なまま面談を受けることとなり、話がこじれた。 ・来年度交流できることを望む。 ・コロナ渦なので仕方ない。 ・まだ交流の機会はないが、今後交流していきたい。 ・実施ができていないため、内容がよく分からない。	・今後におきましても、出来る限り、関係機関等との調整、相談をしていながら、保護者様にご心配をおかけすることが無いように、実施出来るよう努めて参ります。
	8	13	4	4	・感染防止のため、現在は難しい。 ・今年は感染症予防対策として外部の方が来園する行事は行っていない。	/	/	/	/	/	
保護者への説明責任・連携支援	1	21	0	0	・入園説明の際に実施。契約の際にも説明をしている。	47	0	0	0	・グループ活動の内容(様子)をもう少し知りたい。 ・おたよりなどで丁寧に説明がある。	
	2	21	0	0	・保護者との面談、家庭訪問、ZOOMにて支援計画の説明を実施している。	47	0	0	0	・毎回分かりやすく丁寧。 ・時間をとって説明してくれている。 ・STについても支援計画やペアレントトレーニングが計画表としてあればいい。	
	3	20	1	0	・月に1回、ZOOMにておはなし会(ペアレントトレーニング)を実施し、保護者へ子育て支援について話をしたり、保護者同士で意見交換を行っている。	46	1	0	0	・困り事や心配事等の子どもに対しての言葉掛けや対応の相談に対し、アドバイスをしてくれている。 ・毎月のおはなし会(ZOOM)で子どもへの接し方や伸ばし方を勉強させてもらっている。 ・自宅で使用できるカードを作成してもらい、活用させてもらっている。 ・固定曜日の固定時間だと参加しにくい。もう少し参加しやすい時間をアンケートで聞いてほしい。 ・母親のみでなく父親にもペアレントトレーニングを行ってほしい。	・ペアレントトレーニング実施におきましては、今後、出来る限り、多数の保護者様が参加出来るように、配慮、調整していきたいと思っております。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	21	0	0	・連絡帳や個別支援(ZOOM)を通じて、子どもの様子を家庭と共有しながら、その都度助言をしたりクラス職員で共有している。	45	2	0	0	・毎日の連絡帳で伝え合っている。連絡帳を見るのが楽しみ。 ・連絡帳に書いたことを、すぐに返答してくれる。 ・個別のZOOMで子どもの課題を共有している。 ・コロナ対策で大変だったと思うが、ZOOMを用いてこまめに子どもの様子を知ることができ助かっている。 ・個別、バスの送り迎え、電話等でいつも相談や日々の様子を共有している。 ・困り感を家庭から発信して相談してもらおうが、園の様子からみた対応をアドバイスしてもらったり、問題点を抽出したり、園からの発信は少ない。	・今後、保護者様からの相談された内容におきましては、園からの発信を出る限り増やし、対応してまいりたいと思いますので、相談をお願いいたします。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	21	0	0	・電話、連絡帳、バス送迎にて保護者からの相談の聞き取りを実施。相談に応じて担当支援員、クラス支援員、センター全体で対応、助言を行う。	45	2	0	0	・連絡帳や電話で相談すると助言してくれて、園の様子も教えてもらっている。 ・ZOOMをしていただいているので負担なく不安もなく安心な環境。 ・グループ活動の担当職員とも話をしたい。 ・電話で担当職員からサポートを受けられるのはありがたいが、連絡帳の内容は当り障りのない内容で分かりにくいことが多い。PDCAやSOAPなどを使ってはどうか。活動のねらいや個人の結果や達成できたこと、観察からの課題などが分かると嬉しい。	・グループ活動の担当支援者にも話ができる環境の設定を検討していきたいと思えます。 ・支援者からの連絡帳の記載や報告におきましては、より具体的に丁寧に報告ができるように努めてまいります。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	19	2	0	・今年度はZOOMでの保護者会実施であったかったが、前年度までは、保護者茶話会angelcafeで保護者同士が関わりを持てる場を提供している。	29	14	1	3	・感染予防で実施は難しかったが、例年は実施できている。 ・下の子が小さく、保護者会に参加できていない。 ・今年度は実施機会が少ないが仕方がない。	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	21	0	0	・苦情受付窓口を設置している。	36	4	2	5	・苦情については聞いたことがない。 ・すぐに対応してくれているとは思う。 ・対応の体制が整っているとは言い難く、イレギュラーなことで保護者への報告に3時間以上要したり、詳細をお迎えの際に聞くこと約束していても対応していた職員がつかまらず、他の職員も把握できていなかったり、2度手間になることがあった。	・今後、より一層対応体制を強化し、整え、迅速に対応できるように、努めてまいります。
8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	21	0	0		41	5	1	0	・大事なことはMACメールで周知されている。 ・小さい事でもすぐに対応してくれる。 ・職員に名札や制服がなく、どれが職員なのかよくわからないまま覚えるまで時間がかかる。	・年度初め新聞発行の際、支援者の名前と顔が一致するようにします。また、年度初めにおきましては、支援者は、名札を携帯します。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	21	0	0	・月に1度、「天使の輪だより」にて行事予定や活動の様子を発信している。また、クラス活動やグループ活動をZOOMで、保護者様に配信している。	46	0	0	1	・毎月の天使の輪だよりが楽しみで、園での様子、今後の予定が良く分かる。 ・ネット(ホームページ)でも新聞等の掲載があると良い。 ・天使の輪だよりの誕生日紹介の部分でクラスが記載されておらず、子どもとの話を展開しにくい。 ・写真の購入の際、ファイルがもう少し整理されていれば良い。	・左記の細かな内容の改善に努めてまいります。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	21	0	0	・入園時や情報提供の際、その都度、書面にして、保護者様の同意を得て提供、対応している。	46	1	0	0	・今のままでいい。 ・たまにどうなのかなと思うことがある。	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	20	1	0	・各種マニュアル(BCP)の作成。 ・感染症に対する対応を、保護者へMACメールや紙面にて保護者へ周知。	44	1	0	2	・定期的な訓練があり、子どもも良く分かっていると思う。 ・MACネットで大雨の時に連絡がよく入った。 ・状況の変化に伴って、随時周知させている。 ・今年は特に感染症や災害対策が新しくなったが、大変こまめに分かりやすく周知してもらっている。 ・緊急時ではないが、脛を打撲して痣がある状態で帰ってきたことがある。怪我に対する職員研修を実施してほしいし、個別やクラス活動で難しい活動をする際は活動の前後で怪我のチェックをする必要がある。受傷時マニュアルが必要と思う。	・緊急時の対応マニュアルに基づき、今後も訓練、研修の実施等を重ね、迅速に対応できるように努めてまいります。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	20	1	0	・月に1回、地震、火災、水害、不審者対応等の訓練を実施。	46	0	0	1	・色々な災害に合った訓練が出来ている。 ・月1回避難訓練があるため、非常時に子どもがパニックになるのを少しでも防げと思う。 ・定期的に避難訓練をしているおかげで、避難時の避難行動が身についたと思う。	
非常時等の対応	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	21	0	0	・外部研修をZOOMで実施し、園内研修を年に1回程度実施。						
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	18	0	3	・現在のところ対象児童は、いないが、実施する場合においては、左記に十分に配慮して実施していくこととする。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
対応 (続き)	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	21	0	0	・アレルギー食への個別対応を実施。						
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	21	0	0	・ひやりはっと、事故報告書を作成(再発防止策等も記載)、職員室白板に4日間提示、全支援者が周知し、再発防止に努めている。						
非常時等の 対応	1 子どもは通所を楽しみにしているか					45	2	0	0	・楽しく通えるよう考えられ関わっていると感じる。 ・休みになるといつもさみしそう。 ・楽しく通えることがあるのを、大変うれしく思う。 ・すばらしい園です。もっと早く転園させてあげればよかったと後悔しています。 ・行く前にぐずっていても、バスが来ると嬉しそうにしているのでとても楽しみにしていると思う。 ・最初は不安そうだったが、今は楽しそうに行っている。	
	2 事業所の支援に満足しているか					44	3	0	0	・とても満足どころか感謝している。卒園してからも関わりを持つことに感謝している。 ・困っていることに対して相談に乗ってくれている。 ・特に担任の職員が熱心で感謝しています。 ・きめ細かい支援をしてくださり、大変満足。 ・保育士個別、ST個別の回数を増やしてほしい。	・保育士個別、ST個別の回数増につきましては、検討してまいります。